

建学の精神	教育は愛なり	教育方針	常に神と共に歩み社会に奉仕する
学校法人鶴学園のパーパス		広島工業大学専門学校のパーパス	
人を想う、どこまでも。	×	好きをスキルに、その先へ。	

長期ビジョン	
教育	ボーダーレスに”学び方を学ぶ”力を育む鶴学園 主に関連する戦略 = (戦略Ⅰ)教育、(戦略Ⅱ)研究、(戦略Ⅲ)ボーダーレス
地域	広島を支え、中四国を導き、日本を元気にする鶴学園 主に関連する戦略 = (戦略Ⅳ)地域社会
経営基盤	挑戦し、変化を続ける鶴学園 主に関連する戦略 = (戦略Ⅴ)入試・広報、(戦略Ⅵ)管理運営、(戦略Ⅶ)財務基盤

4つの視点
☐ 交流/協力 ☐ イノベーション ☐ 持続可能性 ☐ 多様性/グローバル化

長期ビジョンを実現するための重点目標/基本項目(5年間)	
戦略Ⅰ：教育	
重点目標	本校は鶴学園の建学の精神「教育は愛なり」と教育方針「常に神と共に歩み社会に奉仕する」に基づき、これらの教育理念を具現化するために学校のミッションを「学生一人ひとりを大切にし、学生に寄り添った丁寧な教育を展開し、産業界の中核を担う技術者を育成する」と定め、学科ごとにそれぞれの専門性に応じた人材の育成を推進する。 魅力ある専門学校を目指し、学科改編も含め新たな教育課程を研究し創造する。 また、今後「職業実践専門課程」認定校に対して第三者評価が義務化される予定であり、導入に向けた準備をしていく。
基本項目	(1)各学科の合格目標資格の合格率向上 (2)特色ある教育課程の研究・創造 (3)第三者評価導入に向けた準備

戦略Ⅲ：ボーダーレス	
重点目標	我が国の人口減少に伴い、生産労働人口が減少している現状から、本校としては、文部科学省の「外国人留学生キャリア形成促進プログラム」の認定を見据え、日本語学校との連携を強化し留学生受け入れを拡大する。また、シンガポール・ポリテクニク校との交換研修を今以上に活性化させ、学生が多様な文化や価値観に触れる環境を整える。 中途採用が増えつつある社会情勢の中、今後リスキリングが求められる状況となっており、社会人や企業に対するリカレント教育の導入などを研究・創造する。 さらに、鶴学園の強みである専門学校から県内の大学に編入できる制度を拡大し、本校で学び、さらに学びを深めたい学生にその門戸を広げる。 広島工業大学高等学校エンカレッジコースとの連携を強化するため、共同して教育連携プログラムを策定し、エンカレッジコースの行事等に積極的に参加する。
基本項目	(1)留学生の受け入れ拡大 (2)シンガポール・ポリテクニク校との交流拡大 (3)リカレント教育の導入に向けた研究・創造 (4)広島工業大学への編入学推進 (5)広島工業大学高等学校エンカレッジコースとの連携強化
戦略Ⅳ：地域社会	
重点目標	鶴学園の教育方針「常に神とともに歩み社会に奉仕する」を具現化するため、本校は、地域に開かれた学校として、ボランティア活動に積極的に参加するとともに、各学科の特色を活かした活動を地域社会に公開する。また、「産学連携協議会」において出された提案・助言等を、教育活動や学校経営に積極的に反映させて、地域社会から信頼される学校を目指す。
基本項目	(1)地域連携活動の実施 (2)各学科の特色を活かした活動の公開
戦略Ⅴ：入試・広報	
重点目標	資格取得や就職支援の強みなど、本校の教育の魅力を広く発信し、進学先としての信頼を高める。 通信制も含めた高等学校との連携を強化し、オープンキャンパスの改善やオンライン広報等を充実させることにより、安定した入学者の確保を図る。 また、ものづくりに興味を持たせるため、小中学生を対象としたイベントの開催など、早い段階からの専門学校への興味付けを行う。
基本項目	(1)多様な進学希望者を対象としたオープンキャンパス及びデジタル広報の充実 (2)小中学生を対象とした教育体験イベントの開催
戦略Ⅵ：管理運営(ヒト・情報)	
重点目標	本校のミッションである「学生一人ひとりを大切にし、学生に寄り添った丁寧な教育を展開」するために、学生の自己肯定感の向上を図り、退学率の低減に向けて教職員研修を強化する。
基本項目	(1)退学者数の検証と学生支援体制の構築
戦略Ⅶ：財務基盤(モノ・カネ)	
重点目標	安定した入学生の確保に努めるとともに、老朽化した施設・設備や実験実習機器については、法人局と連携して教育環境整備計画を策定し、優先度に沿って整備・更新を進めていく。
基本項目	(1)安定した入学生の確保 (2)教育環境の整備